

メッセージ・フロム・プリンシパル

鶴嶺高校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。
校長の高橋です。本校は、昭和50年、1975年に最初の入学生を迎え入れ、今年4月に第50期生を迎え入れることになりました。神奈川県から「グローバル教育研究推進校」の指定を受け、これまで、「国際的な視野を持ち、自主性と高い人権意識を身に付けた」生徒の育成を学校教育目標として、保護者・地域と連携しながら取り組んできたところです。



私が高校生のころは、「国際」といえば、「海外に行くこと」でした。ところが、グローバル化が進んだこの社会では、身の回りで「世界」を感じるようになりました。スマートフォンを使えば、世界中の人々とのコミュニケーションが可能です。しかしその反面、いわゆる「フェイクニュース」が流れることもあります。今の子どもたちは、多くの情報を取捨選択して「予測困難な時代」を生きていかなければなりません。

そうした中、鶴嶺高校では、生徒の生きる力を育成するために、様々な取組を行っています。学校の教育活動は、「グランドデザイン」というものにまとめられ、このホームページに掲載されています。

「グランドデザイン」には、グローバル教育、学習支援・進路支援、学校行事・部活動という3つの軸があり、鶴嶺高校ではこれらの「軸」を中心とした取組みを重点的に行っています。

【グローバル教育 ～「多様性への寛容」～】

世界には、様々な文化的背景を持つ人がいます。ここ鶴嶺高校も、30クラスという大規模校ですから、多くの生徒がおり、それぞれに考え方も違っていています。生徒には、多様性を受け入れる姿勢を身に付けてほしいと思います。時には、違う意見を一つにまとめたりする必要があるかもしれませんが、「多様性は力」です。対話によって違うものが合わされば、「1足す1が3にも4にもなる」こともあります。

【学習支援・進路支援 ～「深い学びにつながる授業」～】

先生が授業などを通して教える内容は、深い学びに「つながる」ものであって、深く学ぶのは生徒の皆さんです。興味があるものについて、質問したり、もっと知りたいことを掘り下げて調べてほしいと思います。そして、調べた内容が本当であるかどうかを、常に自分に問いかけるようにすることも大切です。友人や先生と対面で意見を交わすのもよいでしょう。鶴嶺高校をそういった学びの場としてほしいと思います。

【学校行事・部活動 ～学校行事等を通じた豊かな学び～】

学校行事は、特別活動と呼ばれ、国によって、正式に教育活動の中に位置づけられています。入学式や卒業式もその一つです。文化祭や体育祭も、その準備や実施、片づけなどを通して、将来、社会で生きていくのに必要な人間力を養うためにあります。生徒には、

仲間と話し合い、先生とも対話して、いいものを作り出し、自分自身も成長していったほしいと思います。

生徒の安心・安全

そして、これらの取組みを実践する上で、「生徒の安心・安全」を第一に考え、相談体制や学習環境を整備していきたいと考えています。

生徒の皆さんが、この学校での生活を通して、自立した、たくましい人間として成長するとともに、生涯、学び続けるための土台となる、確かな学力を身に付けるよう、職員一同でサポートしてまいります。

令和6年4月 校長 高橋 正広